

2023年度後期HiSEP-Mirai講座計画表

(火曜2限 理学部8番教室)
理学部HiSEP授業ですが関心ある学生の皆さんの聴講を歓迎します。

実施日	企画内容	担当教員	講座タイトル	講座概要
10月10日(火)	HiSEP-Mirai 課題研究・討論①	埼玉大学理学部担当教員	人文社会科学と自然科学との 関わりとそれらの連携 講義と自己学習・グループ討論 (導入のための授業)	社会問題の解決にむけて理工系学生が今、学ぶべきもの 社会問題の提起・解決に向けて科学と社会科学との関わり の検討(各学生) グループ学習による深化と意見交換 レ ポート作成(宿題)
10月17日(火)	HiSEP-Mirai 基礎セミナーⅠ	Dr. Eduardo de la Fuente Acosta Departamento de Física, Universidad de Guadalajara, Jalisco, Mé xico	Understanding the STEM as solver of social problems	メキシコ・グワダハラ大学のFuente先生にSTEM教育 の意義を話していただきます。そしてSTEAM教育に拡張し 、かつグローバル視点で理系学生が専門教育のほかに学 ぶべき教養を提示してもらいます。
10月31日(火)	HiSEP-Mirai 基礎セミナーⅡ	多久和 理実 東京工業大学リベラルアーツ教育 院・環境社会工学院 講師	歴史の中の「科学の神話」と どのように向き合うか	ガリレイ、ニュートンなど、歴史上の科学者の有名なエピ ソードが、科学的にも歴史的にもおもしろい創作であった事 例を紹介します。
11月21日(火)	HiSEP-Mirai 基礎セミナーⅢ	小澤 基弘 教育学部 芸術講座	観察の眼・感覚の眼	科学の基本は対象や事象を観察することから始まります。 美術ではそれを「デッサン」と言います。ただ、観察する だけでなく、観察したモノやコトを感受する眼もまた大事で す。それは「ドローイング」といい、あくまで主観的な眼で すが、そうした感受性が科学の理解を深くそして人間的な ものにするのだと思います。そういう話をしたあとに「ドロー イング実践」をします。
11月25日(土)	埼玉大学むつめ祭 理学部一般公開 「理学部デー」 特別セッション	理学部HiSEP 学生・担当教員	理学部学生が考える、 グローバル的社会問題解決法 理学部講義実験棟1番教室 14:00-15:00	将来の複雑な社会問題の解決のために、理系学生が心得て おくべき知識とスキルとは？2023年度から理学部で始 まったあたらしい教養教育講座の中から、特に文理融合教 育の意義を考察した学生レポートから紹介していきます。
12月23日(土)	HiSEP-Mirai 特別セミナーⅠ	笹田 知弘 (株式会社シンミドウ)	探究心と想いがあれば、起業し て社会貢献が出来る	学校生活に例えると、学級委員・生徒会長や、スポーツ万能 な人・部活動のエースか、起業家に向いているという訳で はありません。知識や技術への探究心と、社会をもっと良 くしたいという想いが、起業家としての大切な要素となり ます。 どんな特性やタイプの人であっても、起業をして社会に貢 献することが出来ることを、小中高生に分かりやすく伝え ます。
12月23日(土)	HiSEP-Mirai 特別セミナーⅡ	田中 信行 (元気象庁 埼玉大学卒業生)	地球温暖化について考えてみ よう	地球環境は、様々な要因で変動します。現在、地球規模の 温暖化が問題視されていますが、実態はどうなのでしょう か。どのような要因が地球温暖化や気候変動をもたらすの か、科学的視点から原因と効果を考えてみましょう。
1月9日(火)	HiSEP-Mirai 課題研究・討論② ----- 基礎セミナーⅣ	埼玉大学理学部担当教員 ----- 菅澤 昌之 TDK株式会社 技術・知財本部 TDK MAKER DOJO	人文社会科学と自然科学との 関わりとそれらの連携 講義と 自己学習・グループ討論 (発展学習) ----- デザイン思考で未来創造	社会問題の解決にむけて理工系学生が今、学ぶべきもの 社会問題の提起・解決に向けて科学と社会科学との関わり の検討(各学生) グループ学習による深化と意見交換 レ ポート作成(宿題) ----- メーカーは、モノづくりだけでなく、コトづくり、バヅくりが 必要とされています。地球環境保護や高齢化社会など、現 在の世の中生き抜くために、様々な社会課題を解決しなけ ればなりません。そのためにストーリーを仕上げていくシス テムデザインが重要です。基礎技術が大事なメーカーです が、世の中への貢献を考えたデザイン思考を体験してみま しょう。
1月30日(火)	HiSEP-Mirai 基礎セミナーⅤ	中川 久嗣 東海大学文化社会学部 ヨーロッパ・アメリカ学 科、教授	現代の医療と製薬産業	現代の医療と製薬産業の関わりについて、サリドマイドな どの具体的な薬害事件を例に採り上げながら考える。科学 者はただ方程式を解いたり実験をしていればそれだけで いいのだ、ということにはならないのと同じく、医学につ いても純粋にそれ自身だけで完結するものではなく、政治 や経済、そして社会や人間との関わりを抜きにして考える ことはできない。科学や技術が併せ持つ、そうした思想的 な側面についてもお話ししたい。